



まちなぎ

WS通信



Vol. 1

9月26日（月）に開催された「第1回まちなぎWS」の様子をお伝えします。

～ 第1回WS概要 ～

開催日：平成28年9月26日（月）
場 所：行田市商工センター 403研修室
時 間：19：00～20：45
参加人数：8名＋見学者1名
グループ数：2グループ

～ 第1回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

市では、平成25年度に策定した「行田らしいまち並みづくりとにぎわい創出基本計画」に基づき、市民主体のまちづくりを実現するため、「まちなぎWS」を開催するなど、市民参画の場を創出するとともに、様々な検討を重ねてきました。

昨年度は、定住人口・交流人口・住民参画・まち並みの4つのテーマについて意見交換を行い、市民が主体的に活動するまちづくりの重要性について認識を共有するとともに、市民主体組織の必要性を確認いたしました。

今年度の第1回WSでは昨年度の意見抽出の結果から緑化活動・空き店舗活用・その他の3案を基に組織の活動内容について意見を交わしました。最終的には市民主体組織の設立を目標に本WSを推進してまいります。



～ 第1回グループワーク結果 ～

テーマ：緑化活動や空き店舗の活用に対する、市民主体組織の具体的な活動について考える。

・Aグループ

案1 【緑化活動】

用水路の整備、ベンチの設置等を市に働きかけ、整備後の維持管理は自治会等に依頼する。

・Bグループ

案1 【緑化活動】

香水用植物の育成に加え、芸術的に優れた花壇を使用したイベントを開催する。

緑化に伴う維持管理費は補助金等を活用する。

案2 【空き店舗活用】

空き店舗情報を整理し、使用可能な空き店舗のリストを作成する。

案3 【その他】

ゴミ拾い等の清掃活動と緑化活動を併せて行う。

～ ワークショップの予定 ～

第2回 ワーク内容 【市民主体組織の活動内容から想定される“課題”と“解決策”について】

第1回WSの3案から市民主体組織の活動を行う際に想定される課題として、どんなことが考えられるか。さらにその解決策としてどのような案があるか意見交換をしていただきます。

第3回 ワーク内容 【市民主体組織の運営に必要な人員の検討と交渉人員・交渉日の選定】

市民主体組織の運営に必要な人員を選定し、その方々に組織の運営について依頼をする交渉人員と交渉日の検討をしていただきます。

第4回 ワーク内容 【ワークショップの総括・市民主体組織の設立について】

第1回から第3回のグループワークの意見を振り返り、総括を行います。また第3回で検討した人員の交渉状況について報告していただきます。

※ WSの進捗状況によってワーク内容の調整をする場合がございます。ご理解の程何卒よろしくお願い致します。



まちなぎ

WS通信



Vol. 2

10月17日（月）に開催された「第2回まちなぎWS」の様子をお伝えします。



～ 第2回WS概要 ～

開催日：平成28年10月17日（月）
場所：行田市商工センター 403研修室
時間：19：00～20：30
参加人数：16名
グループ数：4グループ

～ 第2回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

第2回WSでは前回に引き続き、市民が主体となってまちづくり活動を行う「市民主体組織」の活動内容として、緑化活動や空き店舗活用などをテーマに検討していただきました。

また、検討を進めていく中で、活動から想定される“課題”と“解決策”についても、併せて議論していただきました。

～ 第2回グループワーク結果 ～

第2回WSグループワークの主な意見は以下の通りです。

テーマ：市民主体組織の活動内容から想定される“課題”と“解決策”

【緑化活動】

課題 まちなかに緑が少ない
解決策 地元住民が自宅敷地内において緑化を推進できるよう、補助金を交付し、最終的には地域単位での活動に繋げる

課題 街路樹が整然としていない
解決策 意見交換の場を設け、整備に必要な意見を抽出する

【空き店舗】

課題 空き店舗が増加している
解決策 空き店舗の利活用を企業に宣伝し、促す

【その他】

課題 イベント開催に伴う周辺住民からの理解が得られない
解決策 趣旨や利点などを丁寧に説明し、理解を得られるよう努める

～ ワークショップの予定 ～

第3回 ワーク内容【市民主体組織の活動方針の決定とその活動方針の短期的な活動について】

昨年度のWSの結果を参考に「緑化活動」「空き店舗活用」「その他」の3案について、第1回・第2回WSで議論していただきましたが、第3回WSでは、その3案のうち1つを選び、市民主体組織の活動方針を決定していただきます。

第4回 ワーク内容【ワークショップのまとめ・決定した活動方針の活動を具体化】

今年度のWSのまとめ回として、今まで協議していただいた内容をご紹介しますと共に、第3回WSで決定した活動方針で、活動内容を具体的に協議していただきます。

報告会・講演会

本年度のWSを振り返ると共に、来年度以降にハード整備着手予定の洋館通り・八幡通りの住民意識調査、および行田市観光意識調査の結果についてご報告いたします。

なお、報告会終了後は講師を招き、景観に対する講演会を開催いたします。

※ WSの進捗状況によって内容を変更する場合があります。



11月21日（月）に開催された「第3回まちにぎWS」の様子をお伝えします

～ 第3回WS概要 ～

開催日：平成28年11月21日（月）
場所：行田市商工センター 403研修室
時間：19：00～20：30
参加人数：8名
グループ数：2グループ

～ 第3回WSのプログラム ～

- 1.開会・あいさつ
- 2.概要説明
- 3.グループワーク・グループ発表
- 4.まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

これまで、市民が主体になってまちづくり活動を行う「市民主体組織」の活動内容として、緑化活動や空き店舗活用などをテーマに検討いただきました。

第3回WSでは、前回までに検討いただいた活動方針のなかから、来年度以降の試験的事業の実施に向け、短期的な活動方針を定めました。



～ 第3回グループワーク結果 ～

第3回WSグループワークの主な意見は、以下のとおりです。

テーマ

試験的事業の実施に向け、市民主体組織の短期的な活動方針を定める

活動方針

【空き店舗活用】

- ・空き店舗を調査し、一覧を作成する。
- ・空き店舗の所有者と交渉し、賃貸を働きかける。
- ・賃貸人と借借人を仲立ちするとともに、特徴のある店舗として長く続くようにサポートを行い、空き店舗を解消することによって、にぎわいを創出させる。

活動方針

【緑化活動】

- ・花に関連するコンテストやイベントを開催する際、投票箱を商店街に設置することでイベントによる緑化に併せ、集客による商店街の復興を図る。
- ・イベント開催時以外にもバスターミナルや沿道等に草花の植栽およびプランターの設置を行い、季節ごとに異なる花を置くことで四季を感じることができる景観形成を行う。

～ ワークショップの予定 ～

第4回 ワーク内容【ワークショップの総括・市民主体組織の結成】

第3回で決定した市民主体組織の活動方針を踏まえ、組織の枠組みについて考えるなど、本年度のワークショップを総括します。

日程：平成28年12月12日（月） 19：00～20：30

場所：行田市商工センター 403研修室

報告会（講演会）

本年度のWSを振り返るとともに、来年度以降に事業に着手する予定の洋館通り・八幡通りの住民意識調査、および行田市観光意識調査の結果について報告します。

また、報告会終了後は埼玉県景観アドバイザーを講師に招き、景観まちづくり講演会を開催します。

日程：平成29年2月20日（月） 18：30～19：30

場所：行田市商工センター 403研修室

※ どなたでも参加は自由ですので、お気軽にご参加ください



まちなぎ

WS通信



Vol. 4

12月12日（月）に開催された「第4回まちなぎWS」の様子をお伝えします

～ 第4回WS概要 ～

開催日：平成28年12月12日（月）
場所：行田市商工センター 403研修室
時間：19:00～20:30
参加人数：6名
グループ数：2グループ



～ 第4回WSのプログラム ～

1. 開会・あいさつ
2. 概要説明
3. グループワーク・グループ発表
4. まとめ・閉会

～ WSの内容 ～

前回までは、市民主体組織が試験的事業を実施するテーマとして、「緑化活動」や「空き店舗活用」などについて検討をいただいております。

第4回WSでは、前回までに検討をいただいたテーマのなかから、幅広い年代がその活動に関わることができ、また、比較的容易に整備効果を得ることができる「緑化活動」にテーマを絞り、試験的に実施する具体的な事業内容及び必要となる組織体制について検討いただきました。



～ 第4回グループワーク結果 ～

第4回WSグループワークの主な意見は、以下のとおりです。

テーマ：市民主体組織が行う“具体的な緑化活動”
と“連携が必要となる組織、人”

具体的活動

「植樹・植栽を行う場所」

- ・水城公園
- ・本町～新町通り
- ・行田市バスターミナル

「整備すべき樹木・植物」

- ・新年度の象徴となる「桜」
- ・街路植栽に多い「ハナミズキ」や「ツバキ」
- ・市の木「イチョウ」や市の花「キク」
- ・管理しやすい植物
- ・デザインを重視した植物

「イベント等」

- ・フラワーコンテスト開催
- ・景観資源の保全・活用を目指した景観条例制定への働きかけ

連携が必要となる組織、人

- ・地域住民
- ・企業
- ・自治会
- ・総務省地域おこし協力隊
- ・同様の活動を行っているボランティア
- ・有志住民

～ まちなぎワークショップについて ～

本ワークショップは、市民自らが地域のことを考え、主体的なまちづくり活動や取り組みを行うことを目標に、継続的なまちづくりへの参画の場として実施しています。

来年度以降も試験的事業の実施に向けた市民主体組織の設置などについて、引き続きご検討をいただく予定です。